

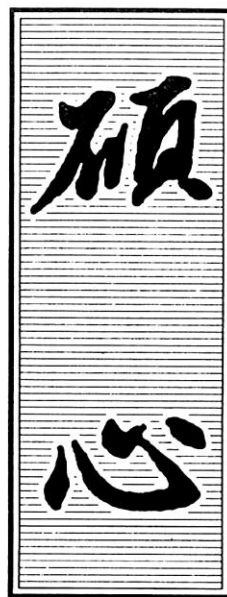
偶感

経理部長 有友 嘉風



今年には私にとって碩心会東伏見支部に入会してから15年、6月にはめでたく(?)古稀を迎え秋には皆伝審査を受審する節目の年となりました。古稀とはご承知のとおり詩聖杜甫の詩「曲江」の「酒債は尋常行く処に有り人生七十古来稀なり」に由来しています。高齡化社会日本においては「稀」というより「人並」という感覚に近いでしょうか。それでも歳月の移ろいの早さに驚くとともに亡くなった父と同年齢になったことに感慨を覚えます。碩心会では長らく一会員に終始してきた報いか、2年前から常任理事、それも素人分野の経理担当を命じられ四苦八苦しながら今日に至っています。常任理事会メンバーの中で雅号に「岳」がないのは私一人。吟道のみならず何

れの道においても修練した証である「皆伝」を取得して初めて一人前とすれば私はまだまだ半人前、現在碩心会会員216名のうち約54%が皆伝以上とのことなので更に修練が必要ということでもあります。過日春の審査会の講評で加藤岳洵会長が高段者ともなれば単に教場に通うことに満足せず、また姿勢、発声、節調に気をつけて吟ずるだけでなく詩文を理解し詩情を込めて吟ずることが大切とコメントされました。このことは平成5年、現役のまま89歳で他界されたベル・カント唱法で鍛えぬいた声と日本語を融和させた永遠のテナー歌手、奥田良三さんが生前「歌はこころです。ココロ」と常々繰り返し言われていたことと同趣旨であり、従って聴く人に深い感動を与えていたのでしょう。氏が得意とされていた「小諸なる古城のほとり・千曲川旅情のうた」は課題吟にもなっているので、未熟な私ながらこれから精進し、やがては詩情を込めて吟じてみたいものと感じているこの頃です。



題字は松井岳洋筆

No401

平成22年5月

発行

(社)日本詩吟学院岳風会 認可

碩心会

発行者 加藤岳洵

編集者 伊藤岳光

神奈川県葉山町堀内206

Te/Fax. 046-875-3723

URL <http://sekishin.holy.jp>

行事予定

神奈川岳風連合会青少年吟道大会

日時・6月13日(日) 午前10時~4時30分

場所・鶴見公会堂・6階

碩心会吟道温習会

日時・6月20日(日) 午前9時25分開場

場所・葉山町福祉文化会館大ホール

詩吟体験教室 *Let's SHI/GI~NI!*

日時・6月26日(土) 午後1時~2時30分

場所・葉山町立図書館

総本部夏季吟道講座

日時・7月24日(土) 25日(日)

場所・応用講座(九段会館) 基礎講座(日本教育会館)

昇伝段位認許

平成22年4月1日付

(少年 2名)

209 広瀬直樹 少初段 210 松浦みづき 少2級

(初段 7名)

224 野村君子 227 畠山武雄 230 小川美恵子

231 久保田博是 232 古敷谷時江 233 森水節子

234 目黒里佳

(二段 6名)

213 堀川ひろみ 218 宮沢忠英 219 矢島富美代

221 中山辰矢 223 村上和秀 225 岩崎 健

- (初伝 2名)
211 永田静泉 216 村田謙泉
- (三段 5名)
202 森 祐泉 203 森 晶泉
206 山下友泉 207 高橋禮泉 205 照沼夏泉
- (四段 1名)
197 齊藤悠泉

平成22年

碩心会総会開催

日 時…5月8日(土) 午後6時30分開始
場 所…逗子小学校音楽室
出席者…45名+委任状9名 出席率98.2%
開会の辞、碩心会の詩合吟のあと会長が議長に就任、予め配布されていた資料を基に審議が行われました。

- (1)平成21年度事業報告
 - (2)平成21年度収支決算報告
 - (3)平成21年度教本等頒布品収支決算報告
 - (4)平成21年度審査料・許証料収支決算報告
 - 平成21年度監査報告
 - (5)平成22年度事業計画
 - (6)平成22年度収入支出予算
- 役員の任期は神奈川県岳風連合会吟道大会のため9月まで延期されることになりました。
以上審議され議決されました 伊藤

- (中伝 2名)
187 鈴木康山 188 山崎勝山
- (五段 1名)
180 高森瑛山
- (六段 6名)
169 岡田麗山 170 山下信山 171 長田富山
172 飯島知山 173 藤崎洋山 174 溝口美山

十段審査を終えて

簗風支部 高見陽岳

故松井岳堂先生の「決別」の吟に初めて接し感動を受けて入会、そして20年、最終審査十段の日を迎え感無量です。この間、松井先生の死去で皆で悲しい想いをいたしました。吟は吟ずるほど深さがあり、とても難しいと思います。最近では「詩の心を音に表わす」詩を素読し詩の心を感じながら声を出し吟ずるようによく注意を受けます。吟ずる方はそのつもりで吟じていても聞く人には通じていないもどかしさを感じます。

3月20日(土)最終審査、今度こそはと練習に励み、何とか最後まで出来たものの、緊張の余り練習時の様には出来ず残念でした。心身共に健康でなければ良い吟は出来ない様に思います。これからは健康に気をつけて少しでも長く楽しく続けられたらと思います。

- (奥伝 5名)
152 志田廣風 154 種田麗風 155 池田忠風
156 坂上葉風 157 鮎澤紀風
- (七段 3名)
139 伊藤泰風 140 湯浅杏風 141 鈴木翠風
- (八段 1名)
132 森 律風

神静地区吟道大会に参加して

東伏見支部 大内翠岳

若葉薫る5月4日、小田原市民会館大ホールに於いて標記大会が開催され、25団体が参加し日頃の研鑽の成果を発表しました。

独吟漢詩35名、独吟和歌36名、合吟26チームによるコンクールに続き、一般合吟が行われ、その結果、漢詩、和歌各5名、合吟2チームが入賞し、全国大会に向け駒を進めました。私達合吟出場の10名は、先生方の御熱心な御指導にも拘らず入賞できませんでした。

審査講評では、文言の間延び等読み方、二句三息の吟じ方、余韻の切り方、アクセントと言葉の強弱、力み過ぎて詩情を欠かないように等、有益なお話を伺いました。何れも常々先生方から御注意頂いている事ですが、改めて心に刻み吟道に精進したいと存じます。先生方の御指導に心から御礼を申し上げます。

デイサービスセンター慰問

桜が満開となった3月30日(火)及び4月3日(土)の午後、久木デイサービスセンターに延べ20名が慰問を行いました。短期間に二度の訪問でしたが、入所者の顔ぶれも入れも代っており同一プログラムで進行されました。

この施設は今年で創立10周年を迎え、記念行事の一環として我々を迎えて下さいました。開式で内山副会長より創立10周年を称える挨拶があり、トップの広瀬直樹君の「絶句」に続いて吟と舞を披露し、短時間でありましたが入所者に喜んでいただき、拍手に送られ会場を後にしました。 人見

春季審査とレッツ詩吟を体験して

一色支部 野村 君子

審査が嫌だから詩吟はやりませんと頑に固っていた私が何故春季審査を受けるはめに？詩舞を稽古していれば詩吟は必要、雅号もせめて「泉」は取らなくては等々、言われ続け受けることに……頭の中は真白でしたが終ってホッとしております。その後4月4日にレッツ詩吟に参加し、内山先生より二句三息、詩吟の効用は身体、頭脳、精神を健全に保つこと等教えて頂きました。これからも又、楽しく稽古していきたいと思えます。

碩心四〇〇号に寄せて

広報部副部長 高見 湘 岳

平成22年3月号をもって機関紙「碩心」が400号を迎えました。400の数字は、現在の年6回発行として考えた時は昭和18年初刊となり、当然当時は大東亜戦争関連のため会は中断していたと思われませんが、3年前に創立70周年を終えた碩心会の歴史を考えますと気の遠くなる程の数字で、長い歴史とその重みを深く感じ、関係された先輩各位並びに碩心会を支える現会員に厚く敬意を表する次第です。

「碩心会」創始者である松井岳洋先生は、

編集作業

広報部副部長 人見 岳 海

一昨年4月より広報部配置となり「碩心」の発行に微力ながら努めており、栄えある400号を手にして、多くの先輩が苦勞して築いた業績に深く感謝しております。

「碩心」は会員間の交流と親睦に大きな役割を果たしており、これからも充実した内容で皆さんに喜んで読んでいただけるよう心掛けてまいります。

広報部は3名のスタッフで編成されており常に情報交換を密にして、碩心会の主要行事

大野狐山先生との出会いによる舟艇守の尺八を始め多くの情感溢れる韻読を創作され、当時木村岳風先生から会名及び韻読について称賛されたと聞いており、これ等は碩心会の宝であります。なんの道でもその道の最高を極めることが終局の目的であらねばならず、吟道を博く深く求めることを願ひ「碩心」と命名されたそうです。私達は「碩心」の意味を噛みしめ博く、深く、半歩でも向上するよう吟道に励むとともに、吟道は人間修養の場であり、人と人との心の触れ合いであり、健康増進の場であることを銘記して、碩心会が今後益々発展するよう努力したいものです。

には1名以上が参加し、内容の収集、写真撮影等に努めております。毎月最後の月曜日に逗子市民交流センターに集合し、原稿の点検等の会議を行っています。発行月の中旬に伊藤部長宅へ集り校正を行い印刷に回します。

最近投稿件数も増える傾向があり、有り難く思っております。紙面の行数に制限があるため、これを超えないようご協力をお願い致します。万全をつくして作業に着手しますが、刷り上った紙面を確認するまで緊張感が継続されます。



「碩心」四〇〇号を迎えて

青少年部長 磯村 岳朋

改めて「碩心」が四〇〇号になります。といわれて、三井雲岳先生(当時会長)が稽古の後、ガリ版を切っていた事を一番に思い出しました。

なぎさ会館の薄暗い中で、手書きの原稿を刷って(その頃、月刊誌で)大変だなと思っ
て見ていました。まさか後に私が係ると思
っていませんでした。大変さを知ってる者
としては、これからもしっかり続けて下さる
事を祈ります。

司馬文学の「花神」

真澄支部 浅野 健 岳

今年には司馬遼太郎の「坂の上の雲」がNHKの大河ドラマに取り上げられ脚光を浴びているようです。

今回私を取りあげたのは司馬遼太郎の「花神」という小説の主人公大村益次郎(幼名村田蔵六)維新政府に重用されて日本の近代兵制の道を確認して明治2年兵部大輔となり最後は反対派に暗殺されるのです。

九段の靖国神社に参拝すると、境内にチョン髷を結って羽織、袴、両刀をたばさみ望遠鏡を持って一方を凝視して立っている英姿颯

爽とした銅像があります。

蘭学を修め医者となったがいつの間にか医者から軍人となり、長州軍を指揮して幕府を攻撃、のち官軍の総指揮官となったが、元来医者あがりのため乗馬のできない指揮官でした。

小説の内容はそんな村田蔵六の活躍ぶりに紅毛の女医さんとのロマンスを交えた内容なのです。

この小説の中で司馬遼太郎が当時の詩文の有力者として「東の大槻磐溪、西の広瀬淡窓」が双璧であるとして紹介しているのを読んだとき、詩吟を習っている者としてなにか旧知に会った様な嬉しさを感じました。いつの日かこのような作者の有名な漢詩を心をこめて吟じたいと思います。



会員のうごき

*入会

- 240 石川 スミエ (東伏見)
葉山町堀内2100-61
☎046-875-8261 紹介者 大内翠岳
- 241 山中 郁子 (真澄)
逗子市逗子2-1-18
☎046-871-9031 紹介者 森 岳観
- 242 加藤 二良 (渚) 再入会
逗子市新宿3-1-8
☎046-876-7037 紹介者 鈴木岳倅
- 243 井上 静子 (静朗)
逗子市新宿3-13-34
☎046-873-4947 紹介者 吉田千山
雅号: 茗山 中伝 (平成18年10月取得)
- 244 有田 暢雄 (渚)
葉山町長柄693-22
☎046-875-5382

*退会

- 182 松村昌泉 (真名瀬) 201 吉本和子 (吟秀)

*支部長変更

- 真澄支部 47 佐藤岳由 → 44 青木岳紅
平松支部 53 齋藤岳和 → 68 村上雍岳

編集後記

数々の歴史をまのあたりにしてきたであろう鎌倉の鶴岡八幡宮の大銀杏、強風で折れた根から吹き出した新しい芽(ひこばえ)が力強く成長しているとのニュースに生命力の強さ自然の神秘を、そして時節の到来を感じました。支部紹介は今回お休みさせて頂きました。

広報部

22年5月1日現在	会 員 数
葉 山 地 区	1 2 5 名
逗 子 ・ 大 船 地 区	9 4 名
合 計	2 1 9 名